

萩市立明倫小学校 校長室だより

学校教育目標： 人としての生き方を学び、共に高まり合う子どもの育成

チャレンジ目標： ～明倫小A：気持ちのよい7mあいさつ～

～明倫小B：友だちを思いやる美しい心と校舎内外の美しい環境づくり～

～明倫小C：目標や志をもち、達成に向けて進んで取り組む子どもの育成～

伸びる力

2019, 7, 11(木) No.16



インターネット環境を考えよう

～保護者の責任、ルールの徹底、フィルタリングの設定～

蝉の鳴き声が聞こえる季節になりました。一学期も残り一週間となりました。

さて、これから長い夏休みに入りますが、子どもたちが安全に生活してくれることを心から願っています。近年気になることは、ゲーム機やスマートフォンなどを使って、多くの子どもたちがインターネット環境の中で生活をしていることです。不特定多数の人とつながりをもつこれらの機器は、とても便利ですが、反面、多くの危険をはらんでいます。実際に様々な事件が起きています。他人事ではありません。文科省の調査によると小学生の約3割が携帯電話を所有しているそうです。これにゲーム機を加えると、かなりの割合の子どもたちがインターネットを使用できる環境の中で生活をしていることとなります。

本校でも、SNSにより個人を誹謗中傷する事案や使用により高額な金額を請求される事案が起きています。自分の子どもがどのように機器を使用しているのか保護者として知り、確認をすることが必要です。それは、買い与えた保護者としての責任だと思います。

また、ゲーム機やスマートフォンなどの機器は、他者とトラブルを起こすだけでなく、使用する子ども自身にもいろいろな悪影響を与えていることをご存知でしょうか。

先日、萩市学校保健会や小学校・中学校・高等学校の校長会の研修会があり、参加をしました。その話の内容は、これらの機器が子どもたちの脳の発達にブレーキをかけるという内容でした。東北大学 川島隆太教授の「スマホと学力『小中7万人調査』大公開」によると次のような調査結果が示されています。

1 家庭で毎日2時間以上勉強をしても、携帯・スマホなどを3時間以上使用すると、携帯・スマホなどを使用せず、かつほぼ勉強をしない子どもより成績が低い。

→ 学力低下の直接的な原因は、家庭学習時間の減少ではない。

2 家庭で勉強しない子どもたちは、携帯・スマホなどを1時間以上使用すると、使用時間の長さに比例して点数が低くなっている。

十分に睡眠を取っていようが睡眠不足であろうが、携帯・スマホなどの使用時間が長ければ長いほど成績は下がる。

→ 学力低下の要因は、勉強時間や睡眠時間の長短ではなく、携帯・スマホなどを長時間使ったことが直接影響している可能性がある。

そこで、携帯・スマホなどを使用したから成績が下がったのか、それとも元々成績の低い子どもが携帯やスマホなどへの親和性が高いのか、3年間追跡調査が行われたそうです。

調査結果① スマホなどを非使用の子どもが継続して使用しなければ、元々の成績が

より向上していく。使用を開始すると、よかった成績が落ちていく。
調査結果② スマホなどを使用していた子どもがそのまま使い続けると、悪い成績がさらに悪くなる。使用を止めると成績が向上する。

【結論】 成績の低い子どものスマホへの親和性が高いのではなく、スマホなどを使用しているから学力が低下していく。

次に、スマホなどの使用時間と家庭学習、睡眠時間の関係の調査結果は、次のとおりである。

- ・ 全く使わない+家庭学習30分以上+睡眠時間6時間以上：ほぼ平均点を超える。
- ・ 使用1時間未満+家庭学習1時間以上+睡眠時間6時間以上：平均点を超える。
- ・ 使用1～2時間+家庭学習2時間以上+睡眠時間5時間以上：平均点は一部のみ超える。
- ・ 使用2～3時間：ほとんどの子どもが平均点に届かない。
- ・ 使用3時間以上+家庭学習3時間以上+睡眠時間6時間以上：全員が平均点に届かない。

この結果から、スマホ使用全般が人間の脳に及ぼす影響について、脳の前頭前野の活動に影があることがわかってきたそうです。つまり、スマホなどを使用すると、ただ成績が悪くなるというだけでなく脳全体の発達が阻害されるそうです。

今一度、自分の子どもの携帯やゲーム機の使用について、下記の点について確認を行いましょう。何かトラブルが起きてからでは遅いのです。

- 1 携帯電話等をもたせる場合は、保護者が責任をもって管理する。
- 2 有害サイトの閲覧を制限する「フィルタリング」を設定する。
- 3 親子で使用に関するルールを決める。(使用時間や使用場所、保護者が確認をする、〇時以降は使用しないなど)
- 4 ルールが守れない場合は、保護者が取り上げるまたは、契約を解除する。

※「携帯電話等」とは、携帯電話、スマートフォン、タブレット、パソコン、ゲーム機、音楽プレーヤーなど、「インターネットに接続可能な通信機器」を指す。

これから夏休みを迎え、子どもたちには多くの自由な時間が増えます。いろいろなトラブルや事件に巻き込まれないためにも、子どものインターネット環境の実態を知り、正しい使い方を身に付けさせることが必要です。学校においても、一学期の参観日の中で「情報モラル教室」を実施したり、機会あるごとに指導をしたりしてきました。しかし、子どもたちが使用するのは、家庭や学校外です。買い与えた保護者としての責任をしっかりと考える時期にきているのではないのでしょうか。

※ 学校経営・校長室だよりへの保護者・地域の皆様からのご意見・ご感想をお待ちしています。
年 組 児童氏名 ()

